

令和6年度第2回芽室町総合計画審議会 議事録

令和6年8月28日(水) 18:30~20:17

芽室町役場 2階会議室7・8

■出席委員(12名)

貫田会長、廣江副会長、太田副会長、岩野委員、江口委員、岡田委員、小池委員、白銀委員、鈴木委員、棚瀬委員、花岡委員、林委員

■欠席委員(3名)

黒田委員、竹澤委員、小林委員

■事務局

有澤政策推進課長、村上政策調整係主査、天野

■説明員

石田公立芽室病院事務長、坂口教育推進課長、清末教育推進課長補佐、江崎生涯学習課長、梅森スポーツ振興係長、藤澤図書館長、藤村社会教育係長、大橋社会教育係主査、森健康福祉課長、上嵯健康福祉課長補佐兼社会福祉係長、仲野商工労政課長、橋本環境土木課長、久保田生活環境係長、杉山都市経営課長補佐兼建築住宅係長、佐々木総務課長、中島総務課長補佐兼危機対策係長、西田魅力創造課長、中村魅力創造課参事

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和6年度第2回総合計画審議会を開会します。欠席のご連絡を、黒田委員、小林委員からいただいております。

会長

お疲れのところご出席いただきありがとうございます。皆様から活発なご意見を頂けるよう、進行していきます。

■2 事務局説明

■3 (1) 調査事項 2024年度施策マネジメントシートについて<資料1>

②公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・管理

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

陰圧装置を導入したとみたが、どのようなものか。何床分に対応しているかを教えてもらいたい。

石田公立芽室病院事務長

コロナの時に対策として入れたものだが、いくつ導入したかはわかりかねる。

委員

入院患者増の対策について、地域包括ケア病棟の受け入れに力を入れているとあるが、急性期がおわって回復期になったら戻ってくるようにという対策をやっていると思うが、その成果はどのくらいか。

石田公立芽室病院事務長

以前、急性期の受け入れは多かったが、最近は役割分担をしていて、急性期は、厚生病院・開西病院など大きい病院で受け入れをしてもらい、回復期に公立芽室病院に戻ってくるという流れになっている。最初は、大きい病院で受け入れをしてもらっても、回復期に公立芽室病院に戻ってきた方が、親族にとってもいいためそうしている。受け入れ件数が何件かは把握できていない。

委員

地域連携室で照会の受け入れ件数をとっておくとわかりやすいのではないか。また、昨年在宅看取りの件数は、どのくらいであったか。訪問看護体制を整えられている成果を教えてもらえたら。そして、そのことを町民に知ってもらえたら将来のためになると思う。

石田公立芽室病院事務長

在宅看取りが増えているのは聞いている。今までは病院で最期を迎える方が多かったが、変わってきている。訪問看護、訪問診療のニーズが増えている。

会長

後ほど報告が欲しいということか。

委員

自分で調べたがわからなかったなので、聞いてみただけである。報告は結構です。

石田公立芽室病院事務長

1つ目の質問について、陰圧装置は1台あり、1部屋分である。

委員

出前講座の件数の増加について、数値はわかるか。

石田公立芽室病院事務長

資料がないため件数はわかりかねるが、ニーズは増えている。本日も柏樹学園に行っており、100名以上に講座を聞いてもらっている。町内会からも依頼がある。

委員

以前、子どもセンターで出前講座をしてもらった際は、嘔吐物処理の実技指導をしてもらった。積極的に人的資源を活用できていて素晴らしいと思う。

石田公立芽室病院事務長

幅広い分野で依頼をいただいている。今後もなにか要望があれば相談してほしい。

委員

コロナ禍で職員が苦勞されたと思う。以前、公立芽室病院をみんなで支える会の総会で、病院にしてもらった配慮が助かったという話をした際、それを聞いた看護師さんが涙を流していた。涙が流れるほどつらい時期であったということだと思う。職員に届く声は苦情だけになりがちなため、こういうことをされて助かったなどの話も、職員に届くといい。工夫が必要だと思う。

石田公立芽室病院事務長

ありがたいことである。院内としても町民のいい声を伝えられる工夫をしていきたい。

委員

以前、公立芽室病院をみんなで支える会で、自宅で看取りされた方の発表会をした。「安心して終末期を迎えられる」ということを感じてもらいたく実施したもので、それを病院のスタッフに聞いてもらおうと、「自分たちがしたことが、このように受け取ってもらえていたなんて…」と感動していた。患者さんの家族の声を聞いたりすると、職員も「やってよかった」と思ってくれるとおもう。アクションプランで、経営形態について検討するということだが、そういう声もあったということで検討してほしい。

また、評価についてはB評価と判断している。連絡調整会議を実施していること。訪問診療・リハビリ・看護、疾病の早期発見など成果が上がっていると発表されていたこと。感染対策看護師、感染対策医師を配置されたということで、感染対策についても安心できること。また、経営改善のための取り組みや、一人一人の職員を大切にしていることが分かること。令和5年の決算状況では、5600万の黒字で、コロナ補助金を除くと赤字になるが、減価償却費を除くと1700万の現金が残り、経営も好転していると分

析できること。以上のことから、B評価としている。

会長

それでは、評価に移る。さきほど、Bという意見も上がったが、担当課評価・庁内評価・専門部会評価でCとしていることから、この審議会もC評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

②学校教育の充実

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

評価については、小中一貫教育方針などで進んでいるのでCである。意見として、成果指標②、③が策定時より大幅に数値が上がっているが、目標値がそれより低い。成果指標②は、自己肯定感を含めたものだと思うが、欧米よりも日本は低いといわれているなか、実績として数値が上がっているのであれば、目標値はさらに上にしたほうが良い。成果指標③に関しても、数値は増えているが、貧困で食べられていない子どもも何パーセントかいると思う。夏休みが長くなれば、給食が食べられなくなる期間も伸びる。芽室町は、学校にエアコンが設置されているため、貧困で食べられない子どももいるということを含め、休みなどの検討をしてほしい。学力にも関係してくることのため、朝食を食べる習慣を付けられたら良い。

坂口教育推進課長

成果指標の数値は、毎年調査対象が変わるため、変動する可能性があるものであり、最新の数値に甘んじることなくしていきたい。成果指標③に関しては、2年ほど前は数値が落ちていた。今後もできることをしていきたい。目標値の設定を高めることについては、次の計画の策定時に、いただいた意見や数値をみて検討したい。

朝食を食べられていない子どもに対して、まちとしての取り組みを関係課と協議していきたい。具体的にはまだ踏み込めていない状況である。風の子めむろでは、食事・居場所の提供をしているところである。

委員

目標値については、計画策定時に立てたものとは知らなかった。せっかく数値が上がってきたため、考えてほしいという意見であった。

委員

学童でのおやつの提供について、単に人手・予算の問題ではなく、子どもにとって食とは何なのかというところで考えてほしい。子どもの胃袋は小さいため、19時～20時まで何も食べられないのはどうかと思う。先ほど挙げていた、検討するものの一つとして入れてもらえたら。また、あいりすの職員より、「欠食児はそんなに気にならない」と聞いたことがある。全国と芽室町の実態は違うかもしれない。芽室町の数値を簡単に調べられないか。

坂口教育推進課長

学童の食事対策については、子育て支援課と協議する。「欠食児はそんなに気にならない」ということについては、「朝食の」ということか。

委員

おやつの提供について、子どもの健康や成長の観点では、見直す必要があるのではないかと思った。また、その件については、子育て支援課の施策ではあるが、「各課と協議していきたい」とおっしゃっていたため、この件についても協議してもらえたらと思う。

坂口教育推進課長

子育て支援課と協議していく。

清末教育推進課長補佐

子どもの貧困は、10%くらいと言われている。芽室町での調査については、以前も話が出たが、まだ調査に至っていない。風の子めむろの食を通じて居場所をつくるという対策に手が伸びた経過である。夏休みで欠食児が多いとなれば、要保護児童として担当課中心にサポートをしていく。独自調査の件は、ご意見として賜っていくが、10%はいるだろうと想定した動きはしている。

会長

実態をもって考えるべきではないかという話。10%いるという仮定は分かるが、芽室町の実態を把握したうえで、取り組んだらどうかという要望だと思う。

委員

実態をつかんでおくというのは大事なことのため、ご検討いただきたい。

委員

まず、コミュニティスクールについて、成功者の話だけではなく、芽室町内で仕事をされている人の知恵と工夫の話聞くことで、知識や学力のほかに、新しい基準を持ち込んでいると思う。とてもいい努力があると思う。

次に、成果指標③について、学校教育としてどう改善していくかということに繋がりにくいと思う。成果指標を作るときに、「学校は楽しいか」などの指標に変えたらいいのではないか。不登校数についても微増であり、不登校の前段階の子どももいるため、何らかの対策をできたらいい。

最後に、フッ素洗口の話が学校で出ている。以前、「芽室町としては学校でやらないと聞いている」と言っていた。不安に思っている人もいるため、不安な問題をどう進めていくのかということ。住民の意見を拾い上げて、住民参加を促していく流れがあると思うが、どのようにして不安な声を聞いて取り組んでいくか聞きたい。

委員

この審議会は、妥当かどうか評価する場である。評価について納得できる話をしていただきたい。

坂口教育推進課長

朝食についての成果指標は、学力や健やかな体づくりに関係しているため、指標にしている。ご意見として受け止める。

委員

学校評価の中に、指標の材料もあると思う。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

③地域で支え合う福祉社会の実現

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

質問である。成果指標②のたすけあい活動とは、具体的にはどのようなものか。

委員

町内会から申請があったところに助成している。具体的には、高齢者の見守りや声かけ、サロン活動が主たるものである。

委員

施策の課題認識に「地域活動が推進されるよう取り組むことが必要である。」と記載があるが、先日、岐阜県のチームおじまの方がきて、地域活動の推進について取り組んだことの話をしてもらったが、取り組みに関心したところである。芽室町は地域へ仕掛けていく取り組みについて、どのように考えているか。

森健康福祉課長

専門部会でも意見を頂いた。すでに地域の方は色々取り組みをされており、行政にはその橋渡しや課題を共有する立場を担ってもらえたらという意見をもらった。行政の中でも福祉部局だけでできることは少ないため、庁内での情報共有や町民の方が既に進めている活動をどう拾い上げられるかということを庁内で整理していきたい。

委員

評価をCにあげていくには、健康福祉課だけではなく、地域全体で進めていくしかない。今、町内会連合会で座談会を行っているが、こういった取り組みをしていくべきである。行動していかないといけない。

会長

評価に移る。D評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：D

④社会教育の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標①の目標値と実績値に差がある。理由を説明してもらえるか。

江崎生涯学習課長

読書感想文コンクールの提出が自主的なものになり、応募数に左右されている。これまで、多くて770人の応募があったが、今は100人に落ちている。評価としては、他の事業参加者はおおむね前年より増えているため、前進したとしている。

委員

読書感想文自体の重要性については、どう考えるか。

江崎生涯学習課長

読書を通じて広く思考を発展して行ってほしいとしている。学校の中での取り扱いであるが、今も提出している方には推進していきたい。

委員

大事なことであれば、成果指標に組み込むといいのではないか。

委員

学校で読書をする・作文を書くなどの時間が少なくなっている中、読書感想文コンクールはいい取り組みである。今年、地域の方が「感想文を書く子どもを応援したい」ということで、講師の方を呼んで話を聞き、子どもたちと向き合うという取り組みをしている。地域の方が動くことはなかなかないことのため、図書館で応援して続けていけたらいい。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑤地域文化の振興

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。要点を絞って発言をお願いしたい。

委員

文化協会の取り組みについて、団体が少なくなっている。まちが文化活動を進めていくという支援が必要。また、発表の場がもっと必要。文化活動を支援する取り組みが必要である。

江崎生涯学習課長

文化協会自体は、任意的にやっているものであり、支援をしたり、相談を承っている。団体に入るより個別での活動が多いが、支援してほしいというところは、相談に随時乗っていく。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑥スポーツしやすい環境づくり

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

プール、トレーニングルームなどの利用について、評価されているのを聞いている。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑦暮らしの安全・安心の確保

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

専門部会評価で「Bでもいい」とあるが、どういった理由か。

事務局

成果指標の数値を見て判断されている。

委員

専門部会のグループワークのファシリテーターとして、ちょうどこの施策の会議に入ったが、目標値が高いが、実績値も充分に高いということで個人的にはBでいいのではないかとおっしゃっていた委員がいた。

委員

消費者協会が行う詐欺の寸劇について、評判が良い。

委員

町長との懇談のなかで、「近隣の町内会に暴力的な人が入っていて、そのことを役場に相談したが、いい方法を見つけてもらえず、安全対策をどうしたらいいか」と、ある町内会からあった。評価については、他の項目からCだと思うが、こういった話はこれから増えてくると思う。1つの課題として、地域の安全を考える工夫をしてもらう必要がある。

久保田生活環境係長

地域の安全に関する取り組みについて、芽室町では、防犯協会でドアの施錠・照明など、防犯対策の診断を年に2回している。少年補導委員会でも、めむろーどで巡視活動をしている。防犯協会では、青色防犯灯も毎週金曜日夕方に実施しており、地域安全に努めている。

委員

話の趣旨とは違ったが、深い話になるため、また別の機会に深めたい。

会長

先ほど、委員がおっしゃったのは、様々な人が町内会にいるため、非日常的なことが起きないこともない。その辺について考えていることがあればということだった。

それでは、評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑧地域内経済循環の推進と商工業の振興

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

2026年度目標の設定の意味を教えてくださいのと、成果指標②について、目標値が計画策定時の数値より低い理由はあるのか。

仲野商工労政課長

後期実施計画の成果指標について、リーサスを使った地域経済循環図のデータに基づいた指標にするのが望ましいとし、経済循環の基礎的な考え方の「生産・分配・支出」の3つを象徴的に表せる指標がないかと考え、見直したのが今の指標である。目標値についての考え方は2つあり、より高いものを目指していくというものと、上回るのを維持と考えるものに分かれる。今質問であったものは、成果指標①が該当すると思うが、700万を下限として下回らないようにしようというところである。

委員

成果指標①の目標値は、このくらいの人口であればこのくらいの指標というものはあるのか。

仲野商工労政課長

人口比での指標はないと思う。考え方としては、基準年の数値を上回るように維持するところ。目標を下限として設定している。

会長

評価に移る。専門部会評価では、B評価が1名、C評価が4名となっており、この審議会では、C評価としてよろしいか。

評価：C

⑨災害に強いまちづくりの推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標④の数値が少ない。災害時にどうなるかイメージできる取り組みが必要。災害時の食事の関係で、お湯ボチャレシピというのがある。体験会をしているところもあり、いい動きであると思う。行政の動きも合わせてできたらいいと思う。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

評価：C

⑩国際・地域間交流の推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

専門部会評価に記載のある「コロナ禍での推進」とはどういう意味か。

事務局

コロナ禍でも、取り組みを進めているということで、前進しているという評価である。

委員

JICAの関係で、行政と民間が、去年はコロンビア、今年はパキスタンと一緒に町づくりのために動いている。研修生には、自国のまちづくりに活かしてもらえよう研修をしており、交流が進んで、まちにとってもプラスの動きがありいいと思う。

会長

評価に移る。C評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑪地域資源を活用した観光の振興

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

(質疑なし)

質疑がないため、評価に移る。E評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：E

⑫災害に強いまちづくりの推進

事務局

担当課評価、庁内評価、専門部会評価について説明。

会長

この施策について、質疑はあるか。

委員

質問である。シティプロモーションの推進とは、芽室町を町内・町外へPRすることか。

西田魅力創造課長

めむろシティプロモーション計画というものがあり、まずは町内にある魅力に町民が気づき、郷土愛を持ってもらうことが一番大事である。それが、町外から見た時に素晴らしく見え、まちとして発信していくことで、転入を促すという流れ。そのこと一体をシティプロモーションと考えている。

委員

比較的町内に向けてのものということか。町外に向けてのPRの取り組みは、地域資源を活用した観光の振興の施策でということか。

委員

外向けの発信については、1つの方策として観光になるが、全体の住みやすさ・移住定収を進めるということは、シティプロモーションになる。

委員

札幌などに行ったときに、十勝管内町村のリーフレットを見かけるが、そういう場所で芽室町のリーフレットを見たことがない。設置することで、観光に繋がるのではないか。

西田課長

観光パンフレットでの町外向けへの発信は確かに少ないと思う。注力して素晴らしいと言えるほどのパンフレットを作っていない事実もある。芽室町は観光の町かと言われると難しいところであり、人を呼び込むことについては、デジタル媒体なども使っていただけらと思う。

委員

成果指標の数値が低いと思うが、具体的に町民向けの取り組みとして、なにをしてきたのか。

西田魅力創造課長

郷土愛を醸成するイベントへの助成。助成の条件としては、郷土愛を育むことを大前提としている。魅力発信フォーラムでは、どんなことをまちがやっていくのかなどを説明する機会を設けて発信している。地域ブランディングは、スイートコーンで進めており、生産者・JA・町民で協議体をもって、ブランディングを進める手法をとっている。

会長

取り組みは分かったが、数値が低い理由はなにかということであった。

西田魅力創造課長

はっきりした原因は分からないが、下がっている現状である。コロナで室内に籠る傾向があり、個人の時間を大切にするようになってきたというところでの低下だと思う。コロナも要因であったと思う。

委員

成果向上に対して貢献度が高かった事務事業は、定住促進事業のみなのか。

西田魅力創造課長

特筆的に高かったものである。

委員

意見である。住みよいなどの話となると、総合計画審議会で審議されていることが、繋がってくると思う。難しい内容であり、他の課と連携して進めるしかないと思うが、頑

張ってほしい。

会長

それでは、評価に移る。D評価としてよろしいか。

(異議なし)

評価：D

■ 3 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了したが、全体を通して何か意見等あるか。

委員

審議会について、どういう話し方をしたらいいのかなど、そのへんについてもう一度整理して統一したほうが良い。本筋と離れた議論は良くないが、この審議会に出席したからには何か言うべきであり、議論しないのも失礼である。いつも特定の人が話して終わってしまう。しかし、議論するには、時間に対して施策の数が多い。そして評価そのものの見方も難しいため、単純化してもらえればと思う。そこが改善されないと、スピーディーに会議を行うのは難しいのではないか。今後会議の在り方を検討していくべきである。

会長

当審議会が最終審議の場所である。質問等はなるべく端的にしてもらうことはもちろんだが、最終決定をするところであり責任がある。また、議論が長ければいいというわけではない。時間の関係もあるため、論点を絞って話していただきたい。進行に問題があるかもしれないが、活発な良い審議会にしていきたいため、今後もよろしく願いたい。

副会長

皆様、思っていることがあり、話したいことが多くあると思う。活性化させるには思っていることを言ってもらわないといけない。時間を決めて議論していくのはいいことであると思う。せつかくの場であり、積極的に議論すること自体はいいと思う。

会長

なにかある場合は、次回にでもお話しいただけたら。事務局より次回のスケジュールについて願います。

事務局

次回、第4回審議会は9月4日水曜日。会場と時間は本日と同じく、18:30～役場2階会議室7・8。次回の審議会では、第4回の議案及び資料を持参いただきたい。今回の委員報酬については、9月10日火曜日に送金予定である。

会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

事務局

審議会は、今まで全く意見が出ないまま終わってしまっていたこともあり、毎年やり方を変えてきていると思う。今回も専門部会評価の欄を、専門部会での議論の内容が見えるよう少し書き方を変えたが、論点が定まらない部分もあるので、来年に向けて変えていきたい。また委員の皆様にも、発言される際は、論点をまとめることを意識してもらいたい。役場職員にも、論点をまとめて話すよう共有する。今後ともよろしく願いたい。

会長

それでは、これで本日の審議회를終了する。お疲れ様でした。

20:17